

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	景観整備機構補助金				基本目標	景観形成の推進					
担当課(局)・係	建設管理課	建築・都市計画係	記入者	長尾広則	評価者	恵利弘一	開始年度	平成24	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どのような状態にしたいのか)						
	町内の景観				高鍋らしい特性を活かした良好な景観を形成する						
事業の内容	25年度は、さくら通りのサインを設置したものに対して意向調査(アンケート)を行い、検証を行った。										
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	50千円		50千円		50千円		国庫支出金	0千円		
	主な予算科目	歳入						地方債	0千円		
		歳出	景観整備機構補助金					その他	0千円		
							一般財源	50千円			
補助事業	事業の区分	町単独による補助事業				補助事業名	景観整備機構補助金				
	補助対象					補助金要綱	高鍋町景観整備機構補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	50千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	50千円		終期	26年度中
		交付団体の決算額	50千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等						
		決算額に占める割合	100%		<small>H24 新規事業</small> <small>◎機構の運営計画の明確化が必要。補助事業についても運営費補助なのか目的補助なのかよく分からない。(H25)</small> <small>◎会の活動補助は必要であるが、補助目的が明確でない。(H25)</small> <small>◎各年で実施◎依頼事業が異なるのであれば、委託料でも良いのでは？(H25)</small>						
	繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
良好な景観形成の推進								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
さくら通りのサインデザイン	1	式	さくら通りのサイン設置に伴う評価	1	式	サイン基本計画の策定	1	式
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
打ち合わせ等の回数	回数							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	さくら通りのサインデザイン	式	実績値	1	目標値	周辺と調和したさくら通りのサインデザインの設計	
			達成率	100.0%	達成率		
	さくら通りのサイン設置に伴う評価	式	実績値		1	目標値	設計に基づきサインを設置する。そのサインに対する評価・検証を行う。
達成率				100.0%	達成率		
	サイン基本計画の策定	式	実績値		目標値	上記結果を踏まえ、町内の施設等におけるサインの基本計画を検討したい。	
			達成率	0.0%	0.0%		達成率
活動指標	打ち合わせ等の回数	回数	実績値	3	5	アンケートの内容の検討など3回にわたる会議と実際にアンケートを実施し、検証まで行った。	
			目標値	3	5		目標値
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	4	平成24年1月に景観整備機構補助金交付要綱を制定し、同年9月に宮崎県建築士会を高鍋町景観整備機構に指定しました。25年度の機構の活動は、町の方で設置したさくら通りのサインの評価・検証を行いました。(24年度、機構においてさくら通りのサインを実施)全体的に好評で、今後この流れを他の施設にもつなげていきたいと考え、今年度は施設等のサインの基本計画を策定したいと考えています。通常、サインマスタープランを策定すれば委託業務費が相当額となるが、機構の自主的な活動において5万円の補助金で策定ができれば効率性や有	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観整備を専門の立場からアドバイスしてくるなど実績があることから、維持。</li> <li>・補助目的の明確化が必要</li> <li>・意識の高い建築士会が補助金で対応してくれているので、委託料で実施する場合より財源の軽減も図られているので、このまま維持してもらいたい。</li> <li>・金額は少額でありどうこういうものでもないが、町としての補助事業の目的が明確でない</li> <li>・町としてどのような目的をもってアドバイスをもらうのかなどをはっきりさせるべきである。</li> <li>・やる気のある団体ではあるが、景観整備機構の位置付けにあいまいな部分がある。</li> </ul>	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	住宅・建築物等安全ストック形成事業(耐震診断・耐震改修工事)			基本目標	人と自然にやさしい住環境の整備		
担当課(局)・係	建設管理課	建築・都市計画係	記入者	長尾広則	評価者	恵利弘一	開始年度 平成17 年度
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)			
	町民			地震による被害を防止する			
事業の内容	耐震診断は、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅を所有する町民を対象に宮崎県木造住宅耐震診断士(県内の建築士で県主催の講習会を受講し、県に登録された者)が大震災による住宅倒壊の可能性の有無について判定するものである。耐震診断費は、自己負担1割(6千円)で受けることができる。また、耐震改修工事は、耐震診断の結果、総合評価の点数が1.0未満(倒壊する可能性がある若しくは高い)の場合、助成を受けて、補強工事を実施することができる。助成額は、補助対象事業費の1/2及び1/3で、最大75万円となっている。						
予算・決算額	年度	平成24 年度決算	平成25 年度決算	平成26 年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	1,486 千円		2,627 千円		国庫支出金	2,075 千円
	主な予算科目	歳入	社会資本整備総合交付金及び建築物耐震改修等補助金			県負担金	730 千円
		歳出	建築物耐震改修等事業補助金			地方債	0 千円
					その他	0 千円	
					一般財源	1,485 千円	
補助事業	事業の区分	国県による補助事業			補助事業名	建築物耐震改修等事業補助金	
	補助対象	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅を所有している町民を対象			補助金要綱	高鍋町木造住宅耐震診断事業費補助金交付要綱 宮崎県木造住宅耐震改修事業補助金交付要綱	
	前年度決算	補助額	2,627 千円	補助の形態	国県補助	H26年度補助額	4,290 千円 終期 26年度中
		交付団体の決算額	6,188 千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		決算額に占める割合	42.5 %	①震災後の状況を見ながら、実施していくか検討すべきと考える。(H23) ②耐震診断の結果にかかわらず、耐震補強工事が一件もなされていない状況から判断すれば、①継続するならば、工事を実施することを補助要件に加えること。②結果が悪いのに補強工事を実施しないならば、この事業は廃止すべきである。(H23) ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。			
	繰越額	0 千円					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
耐震診断の促進			耐震診断後の改修工事の促進					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
耐震診断実施済戸数	2700	戸	耐震改修工事実施済戸数	2700	戸			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
木造住宅の耐震診断及び改修工事における広報	回数	木造住宅の耐震診断及び改修工事における相談会	回数					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			24年度	25年度	26年度			
成果指標	耐震診断実施済戸数	戸	実績値	36	46	目標値 10	耐震診断実施済戸数の累積	
			達成率	1.3%	1.7%	達成率 0.4%		
	耐震改修工事実施済戸数	戸	実績値	2	5	目標値 5		耐震改修工事実施済戸数の累積
			達成率	0.1%	0.2%	達成率 0.2%		
活動指標	木造住宅の耐震診断及び改修工事における広報	回数	実績値	1	1	目標値 2	年度当初にお知らせしたかなべに掲載しているが、それより前に問い合わせがある。	
			目標値	1	1			
	木造住宅の耐震診断及び改修工事における相談会	回数	実績値	1	0	目標値 1		宮崎県建築士会高鍋支部と協働で耐震診断等の相談会を実施。
			目標値	1	1			
			実績値			目標値		
			達成率					

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	平成7年1月17日未明に発生した阪神・淡路大震災での震災による死者数は、6,400名以上に及び、その死因の約84%は家屋の倒壊や家具の転倒による圧迫死であったことが報告されている。建築物の被害調査の結果、特に現行の耐震基準を満たさない昭和56年5月31日以前に建築された建築物に大い被害が見受けられた。本事業は、対象者が限定されるが、今後、南海トラフ大地震が発生するといわれている中、尊い人命を守るためには住宅の耐震化を進めることが急務である。よって、これからも住宅の所有者が耐震診断や耐震改修工事を円滑に実	今後の方向性 <b>拡充</b>
	有効性	4	公益性	4		

事務事業評価委員会評価欄	・実施戸数を増加しても、国・県の補助は大丈夫である。 ・ニーズもあり耐震改修工事の実施にもつながっているようである	外部評価委員会評価判定欄
<b>拡充</b>		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業				基本目標	土砂災害防止対策の推進			
担当課(局)・係	建設管理課	土木係	記入者	大嶋宏和		事業開始年度	H15	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	急傾斜地に指定された地域に居住する者			災害から生命・財産を保護する					
事業の内容	急傾斜地崩壊危険区域の崩壊防止工事は、土地の所有者又は被害を受ける者が実施する必要があるが、工事に多額の費用と技術を要するため県が工事を施工している。その工事に要する費用の一部(10%)を町が負担する。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	1,500 千円		4,000 千円		7,200 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	負担金					地方債	6,400 千円
							その他	800 千円	
							一般財源	0 千円	
補助事業	事業の区分	該当しない			補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態	H26年度補助額	千円	終期	
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!	%						
	繰越額		千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
急傾斜地の崩壊を予防する								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
崩壊防止対策済箇所	1	箇所						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
事業費の一割負担	円							

◎目標達成状況

	指標名	単位				これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	崩壊防止対策済箇所	箇所	実績値	1	1	目標値	1
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%
				実績値		目標値	
				達成率		達成率	
活動指標	事業費の一割負担	円	実績値	1,500,000	4,000,000	目標値	
			目標値	1,500,000	4,000,000		
				実績値		目標値	
				目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	急傾斜地崩壊危険区域の崩壊防止工事は、土地の所有者又は被害を受ける者が実施する必要があるが、工事に多額の費用と技術を要するため、県が工事し、その工事に要する費用の一部(10%)を町が負担している。今後も住民の生命と財産を守るため、現状維持で行っていきたい。	今後の方向性
	有効性	3	公益性	3		<b>維持</b>

事務事業評価委員会評価欄	・必要な事業なので維持	外部評価委員会評価判定欄
<b>維持</b>		